

緑の情報センター

来春へつたごう、
千曲市の緑を

vol.11



千曲市の春の緑

4月に入り、一目十万本「あんずの里」のあんずや、「治田公園」をはじめ、「戸倉宿キティパーク」「城山史跡公園 荒砥城跡」の桜などにより、春の訪れを感じます。

千曲市には春を告げてくれる緑がたくさんあります。セツブンソウは、気温の低い頃に芽をだし、花が咲き、ほかの植物が緑になるとそっと姿を消し、翌年まで永い眠りにつきます。このように早春を生きる植物を早春植物といい、儚げな生命の営みから「スプリング エフェメラル(春の妖精)」と呼ばれています。早春植物は、セツブンソウのほかにも、フクジュソウやカタクリ、ヤマエンゴサクなどが市内に生息しています。

市では、平成 25 年度も千曲市緑の基本計画推進事業として、緑の保全・推進を図っていきます。春を感じさせてくれる緑や、ふるさとの自然に目を向けることで、千曲市の美しい自然を残す意識を高めていきましょう。



▲どの花よりも早く春の訪れを知らせてくれる
フクジュソウ



■問い合わせ先

更埴庁舎・都市計画課 (内線5622)